主体的な学びを実践するために

宮崎大学は、教育方針に基づき、授業の計画、実施、点検・評価、改善のための活動方針を定めます。学生及び教職員の双方はこの活動方針に則り、在学期間を通じて授業づくりに積極的に参画し、主体的な学びを実践します。

大学

1. GPA 制度を導入し、在学中の学修成果の全体を評価します。
2. 教育課程の体系性や学修成果に関する検証をはじめ、学修支援の適切性、教員組織の適切性、社会のニーズとの適合性、施設・設備の適切性等について点検を行います。
3. 自己点検・評価や外部評価の結果に基づき、教育プログラムの実施者に教育の質の改善・向上のための指示を行います。
4. 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施します。
5. 教育の質保証に関する情報を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たします。

教職員 ⟷ コミュニケーション ⟷ **学生**

＊シラバスを通して、授業概要、学習目標（到達目標）、授業計画、成績評価基準・方法、ディプロマ・ポリシーとの関連、等をあらかじめ明示します。

＊学期開始後も毎回の授業に関して、シラバスを通して、授業計画、教育内容・方法、授業担当者、事前・事後の学習、等の情報を適切に周知します。

＊教員は知識・理論と実践を融合し、主体的に考える力を養うために、講義、演習、実験、実習、実技などの授業形態に加えて、多様な教育方法（アクティブ・ラーニング等）を取り入れて授業を行います。

＊成績評価基準・方法に基づき、多様な評価方法を用いて厳格な評価を行います。

＊教員は授業の自己点検に基づき授業改善を行い、その結果をフィードバックします。

シラバス

授業計画の明示
- 学習目標（到達目標）
- 成績評価基準、方法
- 準備学習の指示

授業

教育内容・方法
- シラバスの確認（準備学習）
- 能動的学修（アクティブラーニング）
- 学修時間の確保

点検・評価

授業の効果
- 厳格な成績評価（GPA）
- 授業の振り返り
- 学修の振り返り

改善

教育方法の改善
- FD 研修会（教育力の向上）
- 教員グループ会議
- 教育情報の収集・分析・公表

＊学期開始前に履修科目のシラバスの内容を確認し、学期毎の学習目標、計画をしっかりと立てるようにします。

＊履修登録をきちんと行い、学期開始後の修正期間には、履修を中止する科目に対して取り消し手続きを行うなど、しっかりと履修管理を行います。

＊毎回の授業に関して、シラバスを通して、授業計画、事前・事後の学習の指示を確認し、備学習を行い、積極的に授業に参加します。授業の参加に関して、時間を厳守し出席要件を満たすようにします。

＊授業の効果を点検するために、履修した授業科目において、学修のふり返り（授業ポートフォリオ）に回答します。

＊授業終了後、履修科目の成績及び GPA を確認し、当該期の自己の学修を振り返り記録します（ポートフォリオ等）。